

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	評価実習	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	160 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	夜間部3年	学期及び曜時間	後期	教室名	各実習施設
担 当 教 員	小嶋 高広				
実務経験とその関連資格	理学療法士として金沢整形外科クリニック(滋賀県)に7年間、丸太町リハビリテーションクリニック(京都府)に3年間勤務。 主に整形外科疾患・スポーツ障害を有する症例患者を対象とした外来リハビリテーションに従事。年間100症例以上を担当。 筋電図を使用したバイオメカニクス領域の研究発表・論文が複数。 認定理学療法士(運動器)、修士号(スポーツ健康科学)取得。				
《授業科目における学習内容》					
診療のチームの一員として加わり、臨床実習指導者の指導・監督の下で理学療法評価・治療を実施する。 評価実習後、学校で1症例についてレジメを作成し、実習報告会にてその成果を発表してもらう。					
《成績評価の方法と基準》					
実習指導者による行動目標の達成度評価表、実習生の出席状況、実習報告会の評価などによる総合評価とする。					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
《授業外における学習方法》					
《履修に当たっての留意点》					
臨床現場でしか学べない多くの知識・技術・態度を身につける。理学療法士として働く事を意識し、自分はどうな職場で働き、どのような理学療法士になりたいかを考えて行動すること。学生として患者様に出来ることを出来る限りできるように、しっかりと事前準備をすること。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定	各実習施設において160時間の臨床実習			
第2回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定	学内において、実習成果の発表、および成果の共有			
第3回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定				
第4回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定				
第5回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定				

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 6 回	授業を 通じての 到達目標			
	各コマに おける 授業予定			
第 7 回	授業を 通じての 到達目標			
	各コマに おける 授業予定			
第 8 回	授業を 通じての 到達目標			
	各コマに おける 授業予定			
第 9 回	授業を 通じての 到達目標			
	各コマに おける 授業予定			
第 10 回	授業を 通じての 到達目標			
	各コマに おける 授業予定			
第 11 回	授業を 通じての 到達目標			
	各コマに おける 授業予定			
第 12 回	授業を 通じての 到達目標			
	各コマに おける 授業予定			
第 13 回	授業を 通じての 到達目標			
	各コマに おける 授業予定			
第 14 回	授業を 通じての 到達目標			
	各コマに おける 授業予定			
第 15 回	授業を 通じての 到達目標			
	各コマに おける 授業予定			